

【件名】

小町通り及び駅周辺の立食いについて

【内容】

トンビ、カラスによる立食観光客を襲う様子を日々見えています。現在は裏駅の通りまでトンビが出没し日毎増え続けカラスと食物の取り合い、フンをする等ひどいものです。元々は人間が食物を与えてしまった事からここまでのさばらせてしまったのですが。

住民にとって季節を問わず観光客の増加に駅周辺での買い物は混雑する中をかき分けて行く事になり大変ユウツです。連休は勿論、土、日も買いおきし出掛けない様しております。

鎌倉の町が日毎に下品になっていく様は戦前祖父母の代から住み続けている我が家にとっては哀しい事です。取り急ぎ対策をお願いしたい事はトンビ、カラス対策です。選挙の折には自転車で回っていました松尾市長を市内ではあまりお見かけしません。小町、駅周辺をよくご覧になって下さい。立食食品を売っているのは昨日や今日来た様な店ばかりです。

いろいろ難しい事とは存じますが一定期間を決め立食禁止令を出されたらどうでしょうか？又パトロール隊等を作り見回りも必要かと思えます。どうかどうか品のある街に戻ります様市関係者の立ち上りをお願いします。

【回答】

ご意見のとおり、小町通り及び駅周辺での観光客等の立食いでトビやカラスによるさまざまな被害が発生しているところです。

路上での飲食に係る取組については、観光客のマナー向上のため、「鎌倉観光マップ」をはじめとするパンフレット内に「みなさんへのお願い」として、食べ歩きに対する注意喚起を行っているところです。

また、過去に地元商店会と意見交換を行いました。が、営業方針が店舗によって異なっており、路上での飲食を防止しようとする意見にまとまらなかった経緯があります。

トビや一部のカラスは鳥獣保護管理法による狩猟対象鳥獣ではないことから、むやみに捕獲することはできませんが、立食の際によりいっそう注意喚起することでトビやカラスによる被害対策になると考えています。

市のホームページには、「野生動物への餌付け行為はやめてください。」「屋外で食事するときはトビにご注意ください。」「繁殖期のカラスにご注意ください。」の3項目を掲載して観光客に周知・啓発を図っており、このほか市内の観光客が多く訪れる場所の38カ所の広報板や公園に設置した看板を使って、多言語による注意喚起を行っているところです。

立食いを禁止することは難しい状況もありますが、観光客への注意喚起や事業者への協力依頼をすることで対応に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

平成28年5月10日対応／回答